

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	幼保連携型認定こども園 大阪国際	階数	地上3F
建設地	大阪府守口市藤田町6-74他26筆	構造	S造
用途地域	第二種中高層住居専用地域	平均居住人員	386 人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,460 時間/年
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年3月5日
敷地面積	31,922 m ²	作成者	安井建築設計事務所 算政憲
建築面積	1,326 m ²	確認日	
延床面積	2,410 m ²	確認者	会社名+氏名



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	46%
③上記+②以外の	46%
④上記+	46%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.5

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 大阪府守口市にある大阪国際大学守口キャンパス内に、昭和40年、帝国学園付属大和田幼稚園として開設・建設された幼稚園の建替計画(幼保連携型認定こども園)である。既存建物と同位置建替となる3階建ての鉄骨造+鉄骨鉄筋コンクリート造の建物は、旧園舎が持つ歴史と伝統を継承するとともに、教育・保育環境のよりよい充実をテーマに、豊かな空間の確保と利便性の追及、深い庇とバルコニーを併せ持つ、環境配慮型園舎を目指した。		その他 特になし
Q1 室内環境 教室・保育室間の適切な箇所に遮音壁を設け、無理のないカタチで自然採光・自然換気・自然通風が可能となる建具形状や大開口窓の採用など、音・空気・光・視環境に十分に配慮した計画としている。また、シックスクールの対応	Q2 サービス性能 天然素材であるリノリウムの床材や、天然木を壁面素材に取り入れるなど、生活環境に優しい自然素材をふんだんに取り入れ、心理性や快適性に配慮するとともに、階高3.8mとして計画し、空間のゆとりを確保している。	Q3 室外環境(敷地内) キャンパス内にある既存樹とともに、園庭周りの既存樹をできる限り保存し、豊かな緑に包まれた園舎のイメージ継承につなげている。同時に、景観的にも地域の歴史性継承に配慮している。また、深い庇や軒下は利用者の雨宿りや
LR1 エネルギー 外壁部の断熱には吹付け硬質ウレタンフォームを採用し建物の高断熱化を図るとともに、高効率な設備システムを採用することで建物全体の省エネルギー化を図り、環境負荷低減に努めている。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器の採用や、躯体材料に高炉セメントの利用、躯体材料以外の床材にはリノリウムや再生木ウッドデッキの利用、教室内壁にホルバーなどリサイクル可能材を使用している。また、有害物質を含まない材料の使用を徹底している。	LR3 敷地外環境 屋上緑化の採用や外壁面材を吟味し、敷地外への熱的な影響の低減に配慮している。また、交通負荷抑制として、利用者のための適切な駐輪スペースの確保・利便性の配慮や、管理用車両・荷捌き用車両スペースの確保に取り組んでいる。さらに、光害対策として広告物照明なしや、建物

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0007

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	幼保連携型認定こども園 大阪国際大和田幼稚園					
		建設地	大阪府守口市藤田町6-74他26筆					
		用途/区分	学校					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A		
	CO2削減					5		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				5.0	5	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	3		
				住戸・宿泊				
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					4.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					4.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価					3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価					3.4	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								